

# 第 1 学年 B 組 英語科学習指導案

場所 コンピューター室  
 日時 平成 20 年 3 月 7 日  
 校時 第 5 校時 (14:00-14:50)  
 指導者 松本 光正

1. 単元名 Unit 11 「それぞれのお正月」 (New Horizon English Course book 1)

2. 単元について

## (1) 生徒観

1 年 B 組は全体的に明るく元気で素直な生徒が多い。授業に際しても活発で反応も良い。学力的には若干低い面が懸念されるが、英語に対する興味関心は学年全体の中でもある方である。学力不振者、及び授業中落ち着けない生徒が数名いる。英語に限らず授業道具を出すところからの指導になるが、粘り強く指導していきたい。また、発話行為やコミュニケーション活動になると消極的になる生徒が数名いる。英語学習意欲を喚起させるため教材教具の工夫や形成的評価の研究をしていく所存である。

## (2) 題材観

本課では、カナダ旅行してきた Emi, Shin, Judy, Mike の絵はがきで手紙文の書き方が紹介されている。また、Lisa の日本での初めてのお正月の過ごし方について過去形を用いて叙述している。PP.78-79 において「わたしの一日」が現在形で述べられているが、その箇所を使用して「日記調」で一日を振り返らせる。

規則動詞の過去形は指導済みだが、不規則動詞などはその都度覚えるしかない。日記を日常的に書く癖をつけさせることで、幅広く不規則動詞が体得していけるのではないかと考えている。

## (3) 指導観

本課では上述した題材観が生きるように、英語で日記をつけることを主眼において指導していきたい。言語材料は、I got up---. I left home---. I got to school---. I had lunch---. I played---. I went to bed---.等の教科書のモデル内容を中心的に指導し、その他自分で「昨日やったこと」を 2,3 付け加えて表現させたい。また、手紙文を紹介し、文の書き出し、文の締めくくり方なども同時に指導しておきたい。日付や天気の表現の仕方などもここで改めて指導しておく。

英語科の基礎基本として、語彙指導並びに音読指導に力を入れることとし、できる限り毎回の授業で語彙・音読指導をするようにしている。

3. 学校研究課題との関わり (「3つの達成目標」に絡めた「確かな学力の向上を目指す指導と評価の研究」)

- (1) 英単語・英文が発音・音読(読める)できるようにすること
- (2) 基本英単語や英文が書けるようにすること
- (3) 英語学習とコミュニケーションに対する関心意欲態度の育成を図ること

上記(1)～(3)を努力目標に、それぞれの評価法を工夫しながら学校研究課題の実現を目指す。

4. 指導計画と評価計画(本時は第4時)

時	達成目標	観点別評価・中心技能	評価規準・基準
1	・「過去形」の理解と運用、「過去形」の英文をつくることができる / 「手紙の書き方」を知る	・理解の能力・表現の能力・言語文化の知識 理解, Writing, Reading	・規則動詞の「過去形」が書ける、ワークシートの正答率が8割以上=A
2	・教科書 PP. 92-93 の語彙や内容が分かり、音読ができる	・理解の能力, Reading	・個人読みで、正しい発音と区切りで一人で読むことができる=A
3	・「過去形」の疑問文、否定文の理解と運用、「過去形」疑問文、否定文がつけられるようになる	・理解の能力・表現の能力・言語文化の知識 理解, Writing, Speaking	・ペアプラクティスで「過去形」の疑問文・否定文が発表できる=A
4	・「過去形」の理解と運用、基本的「過去形」に慣れ、「過去形」を使って日記が書ける	・理解の能力・表現の能力・言語文化の知識 理解, Writing	・基本的な規則動詞の「過去形」が覚えられ、単語テストで満点=A、「過去形」を用いて日記が5文以上書ける=A
5	・教科書 PP. 94-95 の語彙や内容がわかり、音読ができる	・理解の能力	・教科書本文 Q&A テストで8割以上正解=A

5. 本時の指導目標

- ① 英文日記において教科書モデル以外で1. 2文自分の言いたいことが書けるようになること
- ② 規則動詞の「過去形」が30個覚えられること

<その他下位目標>

- ・言語活動やコミュニケーション活動に積極的に参加すること
- ・自分の書いた英文が意味を持って相手に伝達されること

6. 本時の学習

	項目	学習活動・学習内容	指導・評価の留意点	補助教材
5分	導入 及び Warming -Up	・単語発音練習「過去形、基本30語」	・英語をしっかりと聞き、 発音しようとする <L/R>関心意欲態度、観察	Star board
15分	展開1 日記を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の説明を聞き、昨日の日記を書く</li> <li>・良く書けている生徒の日記を共有して見て、内容理解と英作文の向上に努める</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価場面1 &lt;具体的評価規準&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英文が日記として自分の言いたいことが上手に書き表わされているか（理解、表現の能力、W）</li> </ul> <p>&lt;評価方法&gt; ・観察法（理解、表現の能力 B、Cの生徒中心に、表現したい内容を「過去形」で5文以上書かせる、またモデルのパターンとは異なった英文をプラス1程度書けるようにする</p> <p>&lt;手立て&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じてヒントを与え、個別指導の充実化を図る</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;R&gt;関心意欲態度、理解、</li> <li>&lt;W&gt;表現の能力(観察法)</li> <li>・自分の言いたいことをプラス1程度書こうとするか否か</li> </ul>	<p>ハンドアウト</p> <p>MS Office Word</p>
20分	展開2 規則動詞の「過去形」の復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいソフトの使い方を学ぶ</li> <li>・規則動詞の「過去形」変化についてパソコンソフトを使用して覚える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価場面2 &lt;具体的評価規準&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な態度で言語活動に参加していない場合、個別に支援していく（関心意欲態度）</li> </ul> <p>&lt;評価方法&gt; ・観察法（関心意欲態度Bの生徒中心に言語活動への参加率を以前より向上させる）</p> <p>&lt;手立て&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じてヒントを与え、個別指導の充実化を図る</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;LRW&gt;関心意欲態度、理解、表現の能力、観察法</li> <li>・積極的にパソコンで個人学習をしようとしているか</li> </ul>	<p>PCソフト「バイキング」 CAI教育システム</p>
7分	まとめと整理 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語テストをする</li> <li>・本時の内容を自己評価する</li> <li>・次時、家庭学習（宿題）の指示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;W&gt;言語文化の知識・理解、分析・観察法</li> <li>・単語テストで8割以上の全員合格を目指す</li> </ul>	<p>（自己評価カード）</p>

備考：男子8名、女子8名。計16名。